

KEIKYU BUSINESS REPORT

第96期 第2四半期 連結累計期間報告
2016年4月1日～2016年9月30日

京浜急行電鉄株式会社 証券コード 9006

CONTENTS

- P.2 トップメッセージ
- P.4 連結決算ハイライト
- P.5 セグメント情報
- P.6 トピックス
- P.10 株主プレミアムイベント
- P.11 会社の概要



トップメッセージ

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第96期 第2四半期連結累計期間(2016年4月1日から2016年9月30日まで)の事業の概況をまとめ、「KEIKYU BUSINESS REPORT」としてお届けいたします。

京浜急行電鉄株式会社
取締役社長

原田 一之



第96期第2四半期連結決算の概要

当第2四半期連結累計期間の営業収益は、不動産事業、流通事業および交通事業等が好調に推移したものの、レジャー・サービス事業におけるホテル グランパシフィック LE DAIBAの譲渡に伴う減収により、1,443億8千4百万円(前年同期比0.6%減)、不動産事業において前年同期にたな卸資産評価損を売上原価に計上した反動などにより、営業利益は185億

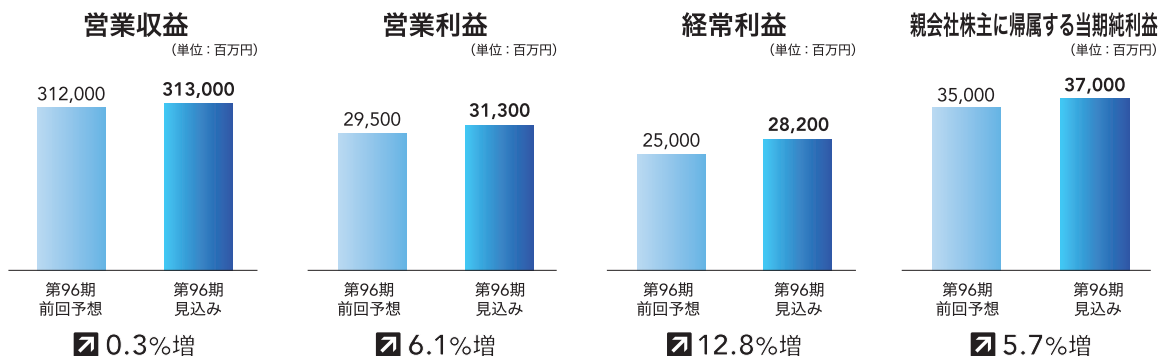
3千9百万円(前年同期比9.3%増)、經常利益は176億1千3百万円(前年同期比17.7%増)となりました。これに、ホテルグランパシフィック LE DAIBAの土地および建物の譲渡に伴う特別利益として固定資産売却益を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は297億6千2百万円(前年同期比206.3%増)となりました。

第96期(2016年4月1日から2017年3月31日まで)の見通し

連結業績予想について、第2四半期までの業績等を踏まえ見直しを行った結果、前回予想(2016年5月11日公表)を修正しております。

営業収益は、流通事業で前回予想を下回るものの、交通事業などが前回予想を上回る見通しとなったことから、3,130億円(前回予想比0.3%増)を見込んでおります。

利益面では、交通事業における増収と動力費および燃料費等の営業費の減少などにより、営業利益は313億円(前回予想比6.1%増)、さらに営業外損益の改善もあり経常利益は282億円(前回予想比12.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては370億円(前回予想比5.7%増)を見込んでおります。



長期ビジョンの実現に向けた取り組み

当社グループは、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指すため、2016年5月に、一大プロジェクトとなる品川駅周辺開発を見据えた、20年間にわたる「京急グループ総合経営計画」を策定しました。

長期ビジョン「品川・羽田を玄関口として、国内外の多くの人々が集う、豊かな沿線を実現する」に向け、鉄道のダイヤ改正、三浦

半島の魅力を伝える企画乗車券の販売等を実施しました。また、生活事業創造本部の再編、住宅事業ブランドの統一、賃貸住宅事業への本格参入のほか、羽田空港アクセスの利便性を活かしたビジネスホテル「京急EXイン」の新規出店等を行いました。

詳しくは、本レポートの6ページから9ページをご参照ください。

● 連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

	当第2四半期末	前期末
資産合計	976,128	1,022,518
負債合計	731,407	800,796
純資産合計	244,720	221,721

●資産の部

分譲土地建物が増加したものの、ホテル グランパシフィック L E D A I B A の譲渡に伴う有形固定資産等の減少および投資有価証券の減少などにより、9,761億円(前期末比463億円減)となりました。

●負債の部

有利子負債の減少および未払工事代の支払いによる支払手形及び買掛金の減少などにより、7,314億円(前期末比693億円減)となりました。

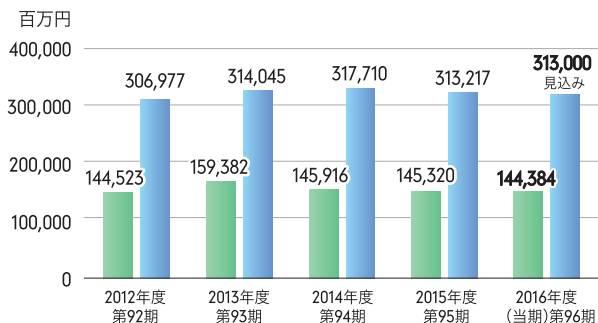
●純資産の部

配当金の支払いによる減少やその他有価証券評価差額金の減少はありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、2,447億円(前期末比229億円増)となりました。

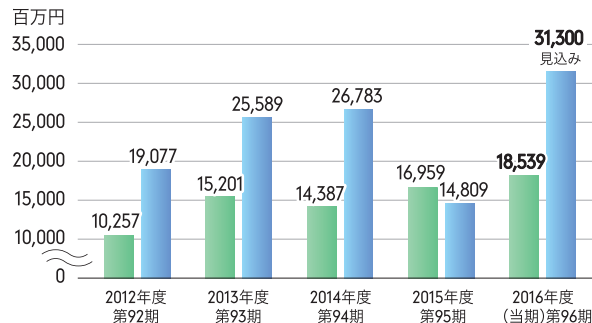
● 業績等の推移

■ 第2四半期(累計) ■ 通期

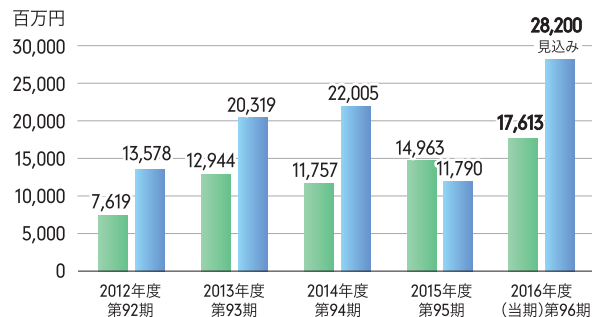
営業収益



営業利益

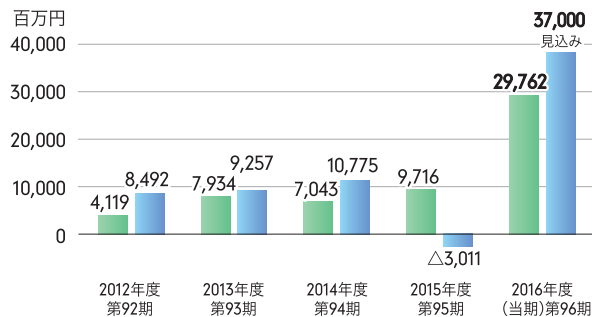


経常利益



親会社株主に帰属する

四半期(当期)純利益又は当期純損失(△)



セグメント情報

交通事業



営業収益

611億円

(前年同期比 1.3%増)

営業利益

124億円

(前年同期比 4.0%増)

- 鉄道事業では、羽田空港国際線の中国便増便等に伴う訪日外国人の増加などにより、羽田空港国際線・国内線ターミナル駅をご利用のお客様が増加しました。また、引き続き三浦半島の観光資源を活かした企画乗車券の販売やイベント列車を運行するなど、当社線の利用促進を図りました。さらに、都心方面および近距離区間の通勤旅客が増加したことなどにより、輸送人員は前年同期比で1.6%増加しました。
- バス事業では、京浜急行バス(株)は、羽田空港～渋谷線、羽田空港～吉祥寺線を増便したほか、羽田空港～桶川駅・上尾駅線の運行を開始するなど、利便性の向上を図りました。

不動産事業



営業収益

133億円

(前年同期比 11.5%増)

営業利益

17億円

(前年同期比 558.6%増)

- 不動産販売業では、分譲マンション「リヴァリエC棟」を販売したほか、「ザ・パークハウス 西馬込」、「ザ・パークハウス 東戸塚レジデンス」の販売を開始しました。また、京急不動産(株)は、分譲マンション「ノブレス湘南藤沢センタースクエア」を販売したほか、「ザ・パークハウス 東日本橋」の販売を開始しました。
- 不動産賃貸業では、交通結節点としてポテンシャルが高まる品川駅前に立地するオフィスビルなどで、高稼働率の維持に努めました。
- 他社と共同でインドネシア共和国における分譲住宅事業への参画を決定しました。

レジャー・サービス事業



営業収益

167億円

(前年同期比 20.4%減)

営業利益

26億円

(前年同期比 4.9%減)

- ホテル業では、京急EXインは、ビジネス、レジャー需要を積極的に取り込み、各館が順調に推移しました。また、当社は、羽田空港利用客の需要を取り込むため、「京急EXイン 京急川崎駅前」、「京急EXイン 品川・泉岳寺駅前」、「京急EXイン 東銀座」を開業し、全11館合計で約2,400室体制となりました。
- レジャー施設業では、京急開発(株)は、「天然温泉 平和島」で、深夜早朝時間帯の羽田空港利用客の需要にあわせた送迎バスを増便するなど、新規顧客の獲得に努めました。また、リニューアルオープンした「天然温泉 みうら湯 弘明寺店」が順調に推移しました。さらに、当社は、他社と提携して、月極駐車場の空き区画を1日単位で貸し出す「駐車場シェアリングサービス」を導入しました。
- ホテル グランパシフィック LE DAIBAの譲渡に伴う減収などにより、減収減益となりました。

流通事業



営業収益

515億円

(前年同期比 1.7%増)

営業利益

10億円

(前年同期比 9.5%減)

- 百貨店業では、(株)京急百貨店は、10月の開店20周年に向け、婦人雑貨売場を全面リニューアルオープンしたほか、記念イベント等を実施するなど、顧客の獲得に努めました。
- ストア業では、(株)京急ストアは、無料送迎サービスの対象店舗に「京急ストア葉山店」および「もたちユニオン葉山店」を加えるなど、地域特性にあわせたサービスの向上を図りました。
- (株)京急ショッピングセンターは、「ウィング川崎」などが好調に推移したほか、「ウィング高輪 WEST」において、テナントの入れ替えを実施するなど、収益力の強化に努めました。
- 物品販売業では、(株)京急ステーションコマースは、(株)セブン-イレブン・ジャパンと業務提携した駅構内や駅前の店舗で、インターネット受け取りサービスを導入した店舗などが順調に推移しました。
- (株)京急ステーションコマースにおいてセブン-イレブンが好調に推移したことなどにより、増収となったものの、(株)京急百貨店においてリニューアルに伴う売場の一部休業により、減益となりました。

その他



営業収益

204億円

(前年同期比 8.1%増)

営業利益

6億円

(前年同期比 13.1%減)

- 京急建設(株)は、鉄道の安全対策工事等を行ったほか、地方公共団体等から受注した建物改修工事等を行いました。
- 京急サービス(株)は、京急川崎駅直結の駅前ビルに認可保育所「京急キッズランド保育園」を開業しました。

基幹たる交通事業の基盤強化

●満足度の高い輸送サービスの提供

■ダイヤ改正の実施

“座って帰宅”をもっと充実!!

「都内⇄横浜・横須賀方面」のご通勤・ご通学がますます快適に!

2016年11月に、ダイヤ改正を実施し、お客様が座ってお帰りいただける機会が拡大しました。

① 下り「ウィング号」に品川駅23時発が誕生!

平日の夕方に品川駅から横須賀方面へ運行している着席保証列車下り「ウィング号」の最終運行時間を、22時5分発から23時発に拡大し、深夜時間帯の着席サービスの強化を図りました。

② 夕方～夜間ラッシュ時間帯の混雑の緩和

平日夜間の通勤時間帯に、都営線からの快特6本に品川駅で空車を4両増結し、品川～金沢文庫駅間で12両編成にしました。

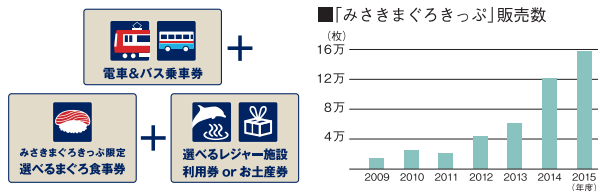


■三浦半島の魅力を伝える企画乗車券の販売

三浦・横須賀・逗子・葉山それぞれの特徴をいかした企画乗車券を販売することにより、三浦半島の魅力を発信しています。

〈みさきまぐるきっぷ〉

2009年8月に販売を開始した「みさきまぐるきっぷ」は、お客様から高い支持をいただき、2015年度の売上枚数は15万枚を突破しました。



〈葉山女子旅きっぷ〉

2015年9月に販売を開始した「葉山女子旅きっぷ」も順調に売上げを伸ばし、2016年8月には1か月で5千5百枚以上を販売しました。

今後も企画乗車券の販売やキャンペーン等を実施し、三浦半島の魅力を発信していきます。



■お客様の安全性向上の取り組み

〈マルチドア対応ホームドアの実証実験の開始〉

鉄道事業では、ホームドアの設置を含む、より一層のホーム安全対策を検討、実施しています。そのなかで、2016年10月から、三菱重工交通機器エンジニアリング(株)が開発した「マルチドア対応ホームドア(どこでもドア®)」の実証実験に協力しています。「どこでもドア®」は、ドア数やドア位置などが異なる車両が運行する路線でも、車両の改修をせずに地上設備のみでホームドア開閉の連携が可能となる「地上完結型連携システム」を採用しています。



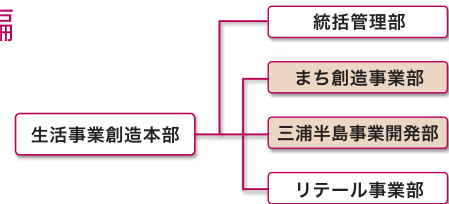
三浦海岸駅に設置した「マルチドア対応ホームドア(どこでもドア®)」

賃貸事業・マンション分譲事業の戦略的展開

●不動産事業の収益力強化

■ 経営計画の実現に向けた生活事業創造本部の再編

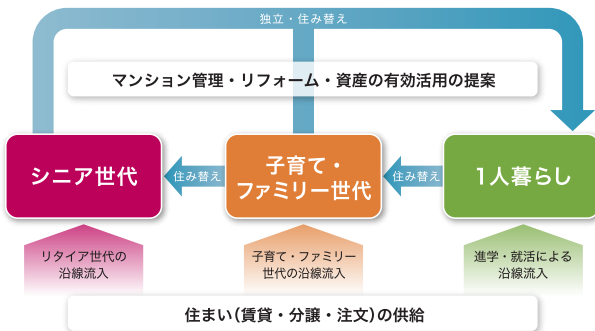
京急グループ総合経営計画の実現に向けた体制整備と中期経営計画で定めた重点テーマ「品川を筆頭に駅周辺を核とする街づくりの推進」、「都市近郊リゾート三浦の創生」の推進のため、生活事業創造本部を再編し、「まち創造事業部」、「三浦半島事業開発部」を新設しました。



■ 定住促進のための取り組み

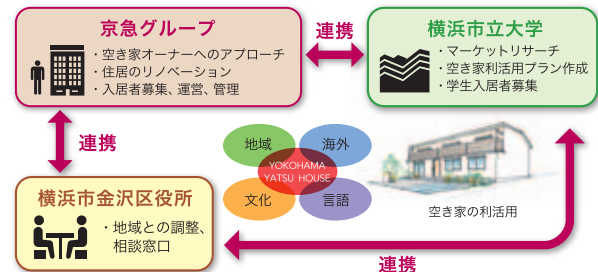
〈ストック事業の強化〉

沿線の人口減少や住宅の老朽化等の課題の解決に向け、既存住宅の流通促進や賃貸化などによる空き家対策と戸建住宅地の好循環化、コミュニティの活性化等に取り組んでいきます。



〈空き家利活用の取り組み〉

金沢区、横浜市立大学と連携し、「空き家利活用プロジェクト」を推進しています。最初の取り組みとして、横浜市大の学生が提案した利活用プランをもとに京急グループが空き家をシェアハウスにリノベーションし、横浜市大の学生・留学生に賃貸します。このシェアハウスでは、共用スペースを設け、定期的にイベントを行うことで、地域の人々と学生が触れ合う場を提供します。



■ 分譲マンション・賃貸住宅事業の展開

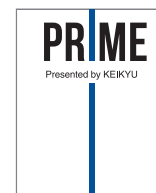
〈住宅事業ブランドを「PRIME」に統一〉

物件ごとに設定していた物件名称やロゴマークを「PRIME」ブランドに統一することで、京急グループが提供する物件の知名度向上やイメージアップを図っていきます。

ブランド統一後の分譲マンションとして、「プライム新杉田」、「プライムパークス品川シーサイド ザ・タワー」、「プライムスタイル東日本橋」を販売しています。

〈賃貸住宅事業への本格参入〉

住宅事業ブランドの統一に合わせ、賃貸住宅事業に本格参入し、第1号物件の単身者向け賃貸マンション「プライムネクサス平和島」の賃貸を開始しました。今後は、羽田空港就業者向け、高齢者向け等の様々なニーズに応える賃貸マンションの開発も行っていきます。



プライムパークス
品川シーサイド ザ・タワー

羽田における基盤強化の推進

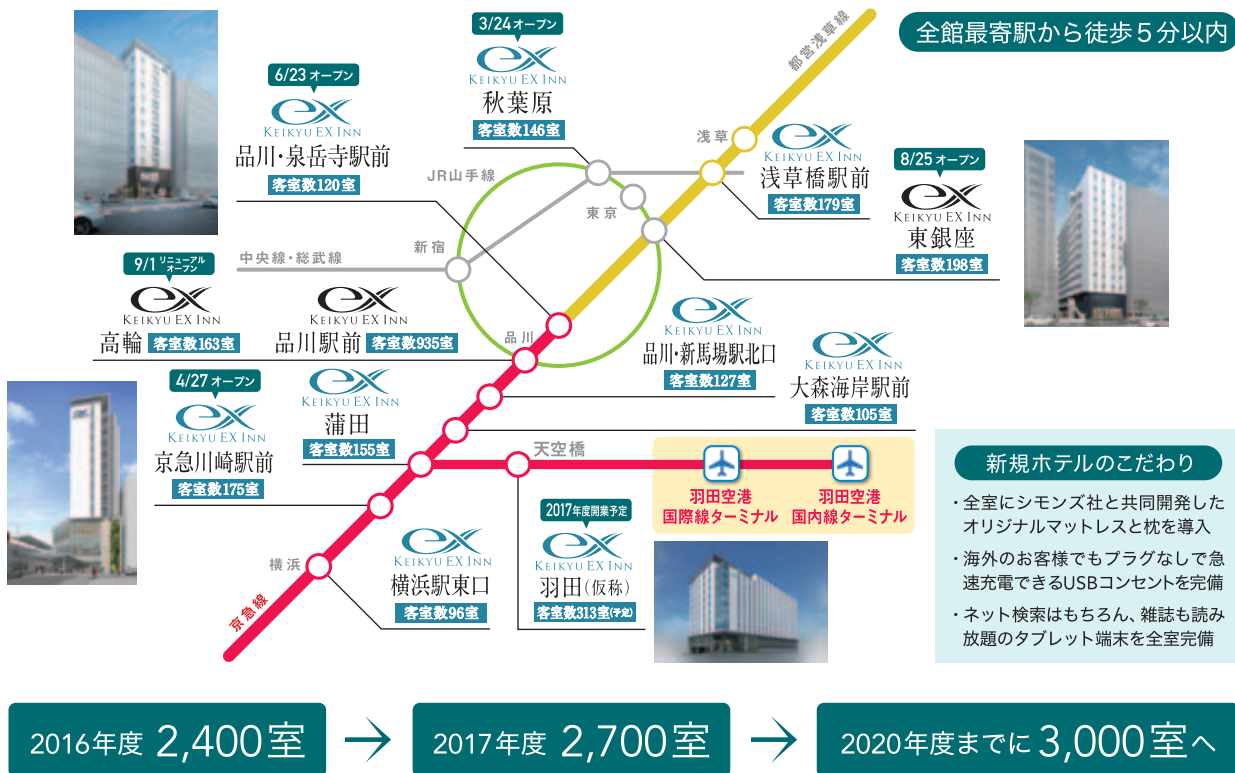
●京急EXインの展開

■京急EXインの新店舗開業

「京急川崎駅前」、「品川・泉岳寺駅前」、「東銀座」の3館が新たにオープン!

京急グループは、訪日外国人や羽田空港利用客などの宿泊需要に対応するため、ビジネスホテル事業の拡大を図っています。2016年4月以降、新たに3館を開業し、全11館で約2,400室体制となりました。2016年3月に開業した「秋葉原」を含め、今年オープンした4館は、「Natural&Modern」をコンセプトに、客室デザインとサービスをワンランクアップした新たな仕様になっています。

羽田空港の昼間の国際線発着枠は、2020年には、現在の6万回から最大9.9万回まで拡大されることが予定されており、訪日外国人のさらなる増加が見込まれます。この訪日外国人の宿泊需要を取り込むため、今後も、品川～羽田空港エリアや都心への新規出店を継続していきます。2017年度には、「京急EXイン羽田(仮称)」の開業を予定しており、2020年度までに3,000室体制の構築を目指します。



■京急百貨店は開店20周年を機にリニューアルを実施

2016年10月、京急百貨店は、おかげさまで開店20周年を迎えました。創業以来、「生活者本位制百貨店」をコンセプトに、常に地域のお客様のニーズに合わせた展開に努め、ご愛顧をいただいております。このたび、お客様の様々なニーズの変化に対応するため、各フロアのリニューアルを行いました。生まれ変わった京急百貨店は、お客様とともに新しい時代へスタートいたします。



3階「婦人雑貨フロア」を拡大

ファッショングッズ売場〈～Au Marché(オウ マルシェ)～〉誕生

2016年9月、婦人雑貨フロアが生まれ変わりました。海外直接買付を含め、国内外の上質なファッショングッズを取り揃え、ワクワク感を感じながら、お買物の時間を楽しく過ごしていただける空間を提供する新しい売場「Au Marché(オウ マルシェ)」を中央に展開し、ハンドバッグや化粧品売場も充実を図りました。さらに、婦人靴売場の面積を大幅に拡大するなど、働く女性の多彩なライフスタイルに対応するための品揃えを強化しました。



地下1階「食品フロア」を充実

2016年4月、食品フロアではニーズが高まる惣菜ゾーンの充実を図ったほか、ギフト対応のため菓子ゾーンを強化し、諸国銘菓「夢うらら」など、80店舗が新しく生まれ変わりました。



7階「リビングフロア」を一新

2016年5月、健康と美容をサポートする商品を提案する「インナーケア」をはじめ、リラクシング、ダイニングなど、生活シーンに合わせたテーマごとの売場に一新しました。



「Beauté Gare(ボーテ ガール)」を店舗展開

2016年4月、京急百貨店が店舗展開を進めているビューティーセレクトショップ「Beauté Gare(ボーテ ガール)」を、ウイング川崎に出店し、上大岡、品川、川崎の3店舗となりました。



株主プレミアムイベント

観音崎京急ホテル 三浦半島リゾートの魅力体感ツアー



◆開催日時

2017年1月24日(火)
14時～16時

◆募集人員

15組30名様

◆応募締切

2016年12月22日(木)消印有効

◆当選者へのご案内

2016年12月29日(木)発送予定

京急ファインテック 鉄道の安全を支える車両工場見学ツアー



◆開催日時

2017年2月16日(木)
14時～16時

◆募集人員

15組30名様

◆応募締切

2017年1月20日(金)消印有効

◆当選者へのご案内

2017年1月26日(木)発送予定

イベント参加申し込み方法

応募資格 2016年9月30日現在 株主の方

応募方法 はがき・ウェブ

はがきで応募される方

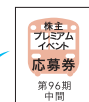
本誌裏表紙の応募券を貼り、
以下の事項をすべてご記入のうえご応募ください。

1. 参加希望コース名
2. 株主様の氏名、年齢、郵便番号、住所、電話番号、株主番号
3. 同伴者の氏名、年齢、株主様とのご関係
4. (同伴者が同居以外の場合のみ)
同伴者の郵便番号、住所、電話番号

【はがき】

上記1～4を
必ずご記入

【応募券】



本誌裏表紙に
あります

【送付先】

〒108-8625
京急電鉄
株主プレミアム
イベント事務局

ウェブで応募される方

1. 「京急電鉄IR」でウェブ検索します。
2. 京急電鉄ウェブサイトの「IR情報」にアクセスします。
3. 応募ページに進んでいただき、ログインパスワード
「9006」を入力してご応募ください。

ご注意

- ・お申し込みは、お一人様につき一回限りです。
- ・同伴者は株主の方でなくても結構です。
- ・いずれのコースも現地集合・現地解散となります。
- ・参加費は無料ですが、現地までの往復交通費はご負担いただきます。
- ・諸般の事情から内容を変更または中止させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・応募多数の場合は抽選となりますので、あらかじめご了承ください。なお、当選者の発表は当選はがきの発送をもって代えさせていただきます。
- ・ご応募に際していただいた情報は、本イベントに関して必要な範囲でのみ利用いたします。

会社情報

- 商号 京浜急行電鉄株式会社
(証券コード 9006)
Keikyu Corporation

- 本社所在地 〒108-8625
東京都港区高輪2丁目20番20号

- 設立 1898年2月25日
(前身の大師電気鉄道の設立)
1948年6月1日
(京浜急行電鉄の設立)

- グループ会社 61社 (当社を含む)

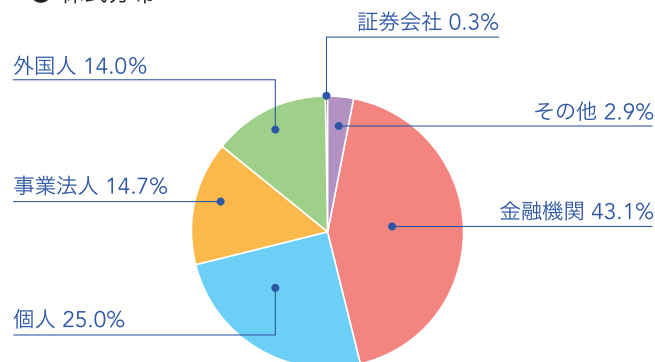
- 従業員数 8,810名 (うち当社1,827名)

役員 (2016年9月30日現在)

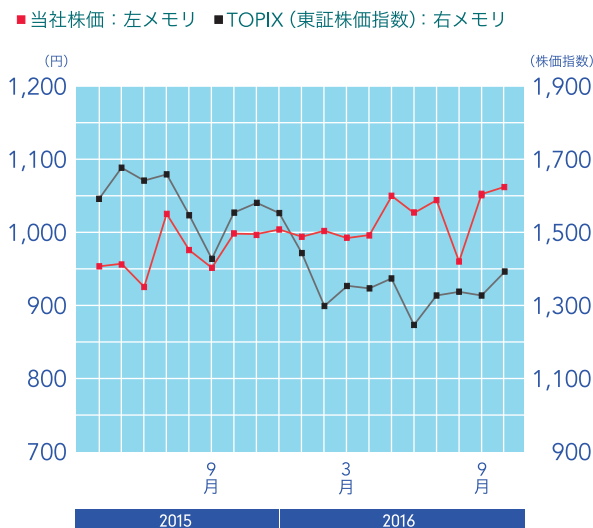
取締役会長 (代表取締役)	石渡 恒夫
取締役社長 (代表取締役)	原田 一之
取締役副社長	小倉 俊幸
専務取締役	田中 伸介
常務取締役	道平 隆
常務取締役	廣川 雄一郎
常務取締役	本多 利明
取締役	武田 嘉和
取締役	佐々木 謙二
取締役	友永 道子
取締役	平位 武了
取締役	上野 賢介
取締役	大賀 祥介
取締役	浦辺 和夫
取締役	渡辺 静義
取締役	川俣 幸宏
常勤監査役	猿田 明里
常勤監査役	國生 伸隆
監査役	末綱 藤修
監査役	須藤 修

株式の情報

- 資本金 43,738,735,119円
- 株式数 551,521,094株 ※自己株式を含む
- 株主数 23,411名
- 株式分布



● 株価 (月終値) の推移



株主優待のご案内(年2回)

グループ施設株主優待券のほか、株式数に応じて優待乗車証等が選択できる株主優待制度を設けています。

● 1,000株以上ご所有のすべての株主様

■ 京急グループ施設株主優待割引券

〈主な割引施設〉

京急グループのホテル、京急百貨店、京急ストア、葉山マリーナ、
羽田空港駅構内対象店舗ほか



● 3,000株以上30,000株未満ご所有の株主様

■ 5,000株以上ご所有の場合、電車・バス全線きっぷもしくは京急EXイン宿泊券のいずれか1つ選択

ご所有株式数	電車・バス 全線きっぷ	京急EXイン 無料宿泊券(シングル)
3,000～5,000株未満	6枚	—
5,000～10,000株未満	15枚	1枚
10,000～20,000株未満	30枚	2枚
20,000～30,000株未満	60枚	4枚

● 30,000株以上ご所有の株主様

■ いずれか1つ選択 + 電車・バス全線きっぷ15枚

さらに3年以上
継続の場合

+ 電車・バス全線きっぷ15枚

ご所有株式数	電車全線パス	バス全線パス	電車・バス 全線きっぷ	京急EXイン 無料宿泊券(シングル)
30,000～45,000株未満	1枚	—	90枚	6枚
45,000～60,000株未満	1枚	1枚	135枚	6枚
60,000株以上	電車・バス共通全線パス 1枚		180枚	6枚

※電車・バス全線きっぷは、当社電車全線および当社グループ(京浜急行バスグループ、川崎鶴見臨港バス)の一般路線バス全線にご乗車いただけます。

※株主優待の詳細は、当社ウェブサイトをご覧ください。

株主
プレミアム
イベント
応募券
第96期
中間

■ 単元未満株式の買取・買増制度、特別口座に関するお問い合わせは

株主名簿管理人・特別口座管理機関
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号

〈営業時間〉平日 9:00～17:00

☎ 0120-782-031

※この冊子に掲載のイラスト・写真の無断転載を禁じます。

■ 当社株主優待等に関するお問い合わせは



京急ご案内センター

〈営業時間〉平日 9:00～19:00
土・日・祝日 9:00～17:00

※営業時間は変更となる場合がございます。

ハローハロー
03-5789-8686

または 045-441-0999



再生紙を使用しています

KEIKYU
京急電鉄